

主催：一般社団法人 東京精神保健福祉士協会 研修委員会

平成 30 年度 スキルアップ研修B

# 「カンファレンスを通じたチームビルディング」

～精神保健福祉士としての視点～




スキルアップ研修Bは、東京精神保健福祉士協会会員を対象に、支援に関する様々なアプローチ方法を学ぶ研修です。昨年度は、今年度の講師でもある福島先生をお招きし、主に教育的・治療的なグループワークの展開について学びを深めました。

今年度は、カンファレンスやケア会議といった会議体についてグループワークの理論・視点から学びを深めます。現場でカンファレンスやケア会議を行っている一方で、「**ただの司会になっていないかな？**」、「**どんなノウハウが必要なのかな？**」、「**職場でカンファレンスの方法について学ぶ機会が少ないな…**」などと感じている方も多いかと思います。日々実践している会議体において、我々精神保健福祉士が主体的に関わる意義や視点について、参加型の研修を通して一緒に学んでいきましょう。

【日時】 平成 31 年 3 月 9 日(土)  
13:45～17:30(受付開始: 13:30)

【講師】 福島 喜代子氏  
ルーテル学院大学総合人間学部 教授

【会場】 大橋会館 大教室(目黒区東山 3-7-11)  
 東急田園都市線「池尻大橋駅」徒歩 3 分

【対象】 東京精神保健福祉士協会会員

【受講料】 2,000 円 ※当日受付時支払い

【定員】 30 名 ※先着順、定員になり次第締め切ります。

ただの司会になって  
いないかな…??



このカンファレンスの  
目的って何だっけ??



※本研修では、机を使用しません。各自でバインダー等をご準備頂くと便利です。

## 講師紹介

### 福島 喜代子氏 ルーテル学院大学総合人間学部 教授

大阪大学(学士)、カルフォルニア大学ロサンゼルス校(UCLA)大学院(社会福祉学修士)、日本社会事業大学大学院修了(博士:社会福祉学)。大学卒業後、社会福祉の民間団体勤務後留学。帰国後、ルーテル学院大学勤務。近年は、対人援助のトレーニング、自殺危機初期介入ワークショップ、IMR(リカバリーと病気の自己管理)導入支援研究、認知症の家族支援研究、スーパービジョン、コンサルテーション等を主に行っている。

#### <主要著書・論文>

- ・「自殺危機にある人への初期介入の実際～自殺予防の「ゲートキーパー」のスキルと養成」(編著、明石書店、2013年)
- ・「精神保健福祉分野におけるグループワーク～SSTを手がかりに」『ソーシャルワーク研究』36(1)、15-23(単著、2010年)
- ・「スーパービジョンにおけるコミュニケーション・スキルアップ」『ソーシャルワーク研究』32(3)、213-219(単著、2006年)

## 申込み方法

こくちーずに申込みイベントを登録しています。

右のQRコードもしくは、下のURLにアクセスして申込みを行ってください。

<https://kokucheese.com/event/index/548433/>

QRコードを読み取ってください



携帯電話でもイベントの申し込みができます。

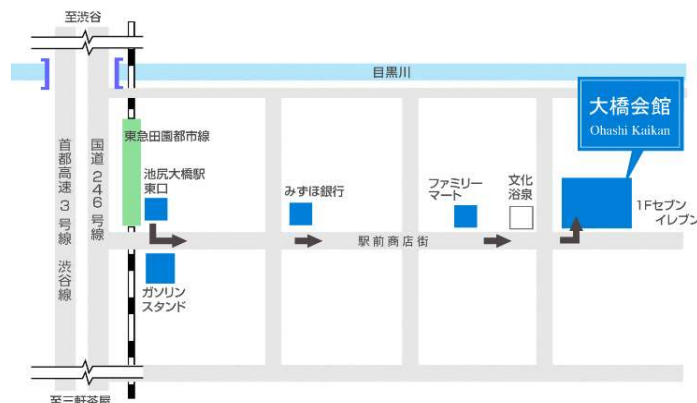
※今年度のファウンデーション研修及びスキルアップ研修A受講後、一定期間の間に当協会に入会された方にクーポンをお送りしています。クーポン利用の方は、申込みフォームのクーポンの項目を有とし、当日忘れずにクーポンをご持参ください。

**申込み期限:平成31年2月24日(日)**

## 会場案内

最新のアクセス情報は大橋会館ホームページにてご確認ください。

<https://www.neclivex.co.jp/ohashi/>



## 問合わせ

東京精神保健福祉士協会 研修委員会

「[kensyu@tokyo-psw.com](mailto:kensyu@tokyo-psw.com)」

※メールにてお問合せください。

